



平成25年 1月31日
豊玉南小学校たより

平成24年度 2月号

とよみなみ

興味をもち、

自信がつけば

校長 植村 茂樹

2月は暦の上で春とは言え、まだまだ寒さが厳しい時期です。インフルエンザの流行が心配される時だけに、子供たちが元気に登校してくれることを心より願っています。

1月19日(土)、練馬区役所東庁舎において、練馬区青少年育成第一地区委員会主催の「百人一首かるた会」が開催されました。本校からは40名ほどの子供たち(4年生以上が対象)が参加しました。他校からの参加もありましたが、圧倒的に本校からの参加者が多く、保護者の応援もありました。

例年と比べても、今年は随分レベルが高いと感じました。札を取るスピードが速く、札が詠まれる前には、どこにどんな札があるかを確かめている子が大勢いました。試合は予選と本選があり、予選で順位を決め、本戦は同じ力の者同士がグループとなります。当然のことながら、本戦は白熱した戦いとなりました。さすがに最強グループはレベルが高く、上の句が詠まれると同時に札を取る子が結構いました。どの子も真剣で、表情には自信も溢れていました。

本戦の結果、上位はすべて豊南小が独占しました。参加人数が多いせいもありますが、本校で取り組んでいる百人一首検定や、百人一首集会の成果かもしれません。日本の伝統文化であるこの遊びに夢中になり、奥の深さに子供たちが興味をもったとしたら嬉しい限りです。ある関係者が「これなら、競技にして全国大会まで視野に入れるのもいいかもしれない」と話されていましたが、納得です。

子供たちには無限の可能性が 있습니다。その可能性がまだ見つかっていないのが多くの子供たちの現状ではないかと思ひます。「一芸に秀でる者は多芸に通ず」と言ひます。興味のあることに打ち込んでいれば、やがてその道で力を付け、付けた力が自信となり、その自信が様々な能力を開花させるという訳です。百人一首も多くの可能性の一つとなるかもしれません。夢中になれるものなら、徹底して夢中になればよいと思ひます。

これから、学校はまとめの時期となります。一人一人の子供たちがどんな成長を遂げてきたか気になるところです。6年生にとっては残り少ない小学校生活です。悔いを残すことなく、毎日を大事に過ごしてほしいものです。在校生は、自分の目標が達成できたか振り返り、来年度につなげてもらいたいと思ひます。平成24年度もあと2か月となりました。

2月の行事予定

1日(金) 校内書初展終
4日(月) 委員会活動
5日(火) 補充教室
9日(土) 土曜公開
11日(月) 建国記念の日
14日(木) 避難訓練
新一年生保護者会

18日(月) クラブ活動(3年見学)
19日(火) 薬物乱用防止教室(6年)
21日(木) お別れ球技大会
25日(月) クラブ活動
26日(火) 地区班編成



〈5年の窓〉

5年担任 茅野 蘭女

高学年になったうれしさと緊張が入り混じった表情をしていた4月。子供たちは日々の生活、学習の中で少しずつ、でも着実に成長してきました。また、いくつもの行事を積み重ね、そのたびに一回りずつ大きくたくましくなってきました。

9月にあった移動教室。下田の海の青さに心を動かしながらの3日間でした。その中で、自分たちで先を見通し、協力し合って生活することの大切さを学びました。何より、3日間寝食を共にする中で、友だちとのつながりが、それまで以上に広く、深くなりました。

10月の運動会では、初めて組体操に挑戦。4年生までは全員が同じ動きを覚えればよかったわけですが、今回は違いました。下で支える子のつらさと、上に乗る子の怖さは全く質の違うものです。お互いを思いやりながら、声をかけ合い、気持ちを合わせ、心を合わせて、1つ1つの技を成功させていきました。

11月の学習発表会は、「風」をテーマに自分たちで台本やパーカッションを考えました。表現する楽しさ、みんなで一つの作品をつくり上げる達成感を味わうことができました。

ずっと頼りにしてきた6年生と過ごせるのもあとわずか。今月からは、バトンを引き継ぐ意識をもって過ごしていきます。その中で、自分たちのよさは何か、課題は何かを見つけ、喜びをもって「最高学年になる4月」を迎えられるようにと願っています。がんばれ、5年生！

〈算数教室から〉

算数担当 井原 かおり

算数科では、少人数指導になって2年目に入ります。単元によっては、習熟度別に切り替え、子供たちの様子を見ながら学習を進めてきました。算数科のテーマは、「自力解決させる」でしたが、今年度は昨年度から一步進んで、「今まで習ったことを使い自力解決する」としました。

1年から6年までの算数科の学習は、数量・図形ともに段階を追って今まで習ったことを使い問題解決するよう設定されています。特に文章問題では、①問題文を読む②式をたてる③答えをだす—の3つの段階を意識して、問題に取り組んでももらいました。この中でも子供たち苦勞した場面は、式をたてることでした。数字や記号を並べ、式を組み立てることができてもその意味が十分に理解できていないと答えをだす段階で誤ることもあります。式の意味を友達に説明できるまでには時間が必要ですが、友達の意見を聞きながら自分の考えを書き直す子供の姿も見られるようになりました。これからも子供たちのがんばりを応援していきたいと思えます。



◇給食費・教材費 引き落とし日

①2月 5日 (火)

②2月15日 (金)

入金をよろしくお願い申し上げます。

〈学校図書館より〉

図書担当 加藤 由紀子

図書室入口の左手には、今、へび年にちなんでへびが登場する本紹介カードや百人一首カードが貼られています。一步図書室に入ると見やすく整理された本とともに、趣向を凝らしたポスターなどでいっぱいです。本好きの子が増え、いごごちのよい図書室になり、豊かな読書環境を提供できるのも、図書館司書の高橋先生、図書開放委員の皆さん、図書委員会のおかげでもあります。

貸出カードの導入に加え、教員も休み時間に図書室に足を運び、図書館利用のマナーも向上してきました。不明本(手続きなしに持ち出した本)もずいぶん少なくなりました。引き続き、皆様のご協力のもと、さらに、充実した学校図書室にしていきたいと思えます。もし、長期間おうちにある本がありましたら、お子さんに持たせてください。

